

## 令和3年度 小山市行政改革推進委員会議事概要（計画見直し）

令和3年12月1日に開催いたしました行政改革推進委員会（外部委員）において、第7次小山市行政改革大綱実施計画の見直しに関して、委員からの指摘事項は以下のとおりです。なお、実施計画から削除・統合する取組の選定基準に関する考え方や取組削除案については、委員からのご意見・質問等はありませんでした。

### 〇トピック別指摘事項

#### 見直し後の効果額について

##### 【委員】

見直し後の効果額の総額はどの程度となるのか。算出の時期やスケジュールを教えてください。

##### 【事務局】

→本委員会の指摘事項を踏まえた上で、見直し案を行政改革推進本部会議に諮り、見直し項目を確定させる。

見直し項目が確定後、各所属において記載内容を調整し、改めて効果額を算出したと思うので、集計が済み次第、本委員会委員の皆様にも結果をご報告差し上げたい。

#### マイナンバーカード関連の取組について

##### 【委員】

マイナンバーの取得促進は既に取組として存在しているが、今回の実施計画見直しに合わせて、マイナンバーカードの利活用についての項目を追加するのはどうだろうか。

##### 【事務局】

→マイナンバーカードは今後更なる普及が見込まれる各種電子申請等で必須となるほか、様々な分野で伸展があるツールであるため、その利活用の検討は非常に重要なポイントとなる。

今後、庁内でどのように取り組むかは検討が必要であると考えている。

##### 【委員】

→小山市の情報化基本計画内ではマイナンバーの利活用について担当課が複数挙げられているが、中心となる旗振り役が見えない。他自治体では電子申請の促進等を行革で実施しているところもあり、マイナンバーカードの利活用による行革も検討してほしい。

##### 【委員】

マイナンバーカードの申請から交付までに時間がかかっていると聞いている。

今後、マイナンバーカードが国全体で普及促進していく中、マイナポイントの追加の付与などにより更なる混雑が予想されるため、申請から受け取りまでが円滑にできるよう対策を検討してほしい。

**【事務局】**

→マイナンバーカードの申請から交付まで大変お時間をいただいていることについては市民課も十分承知しており、可能な限り対策を取っているものの、人的資源や物理的スペースにも制約があるため、なかなか難しいというのが現状である。

**No.15 学校へのタブレット配置**

**【委員】**

当事業はもともと実施計画に含まれており、見直し対象としては完了となる事業として削除となっているが、そもそも補助金を利用して学校へタブレットを配置するだけの事業について、その結果を効果額として計上することは適切ではないと思う。

また、急に導入することとなったタブレットではあるが、児童・生徒や先生が有効に利用できているのかが疑問である。

**【事務局】**

→タブレット配置には補助金を使用されており、仮に市が全額一般財源で賄った場合との比較として、補助金の金額を効果額として計上している。

タブレットの配置スケジュールについては、本来国の GIGA スクール構想に基づき5年間に渡って配置する予定であったが、コロナの影響等もあり前倒しで令和2年に一挙に配置した。急な配置であったため当初は現場でも混乱があったと思われるが、学校側も工夫しながら徐々に利用の道筋を立ててきている。

**【委員】**

今年度は10月からタブレットを利用したオンライン授業をできるようにすると回答があり、実際に自分の子供は毎週末端末を持ち帰り、オンライン対応できるかテストしている。

教育現場はスケジュールの前倒しにより利活用に苦慮している面もあるが、なんとか頑張って利用しようとしている。

**No.3 小山市立体育館整備及び運営事業（PFI方式）、No.6 小山水処理センターPFI事業**

**（汚泥処理・有効利用施設整備及び運営事業）**

**【委員】**

当事業は小山市での初のPFI事業の取組であり、今回の見直しでは完了につき削除ということになっているが、今後の顧客満足度の管理等を行革の場では実施しないのであれば、別途外部の人間が結果を確認し、検証できる場を設けてほしい。

【事務局】

→PFI 事業は小山市としても新たな取組であり、アンケート・モニタリング等を通じた結果の周知や検証は重要であると考えてるので、ご意見については所管課に伝えさせていただきます。

その他意見

【委員】

No. 22 路線バスの運営改善の推進と No. 23 デマンドバスの利用促進が統合対象となっているが、まちの魅力と利便性の向上のため、より一層力を入れて取り組んでほしい。

【委員】

今回は行政改革大綱とその実施計画の見直しということであるが、今までの計画では行政改革ではなく別なところでアピールすべき取組も多かったように思われる。小山市は国の補助目当てで次々と実施した政策がたくさんあった。これからこの方針をどのように変化させ、改善していくのかを見守りたいと思う。

以上